

酒井藍さんを 広報大使に 任命!



平成29年12月11日に「たわらもと広報大使」の委嘱式が行われ、広報大使に田原本町出身で、よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の酒井藍さんを任命しました。任期は平成29年12月11日からの3年間で、たわらもと広報大使として、町内外に田原本町をPRしていきます。

町長から委嘱状が交付され、植田議長からタスキ・特大名刺・特産品のいちごなどが贈呈されました。

現在も田原本町に住んでいて、町のためなら何でも協力するという酒井藍さんに聞きました

新喜劇に入ったときから、座長になることと、『たわらもと広報大使』になることの二本柱の目標でやってきましたが、2017年のでふたつも夢が叶ってしまいました。

唐古・鍵遺跡からブタと思われる骨が出土したことで、ブタをモチーフとした「タワラモトン」が町の公式キャラクターに決まり、驚きました。デザイン投票選挙が行われていると聞いて、駅前の観光ステーションで投票しました。今後、「タワラモトン」と、私のブタのギャグとコラボレーションできたら面白いですね。田原本にはイチゴやスイカ、柿などおいしい食べ物がたくさんあります。

まずは、おいしいものがたくさんあるよというアピールから入ります。



プロフィール 酒井 藍

よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属



- 昭和61年9月10日生まれ
東小学校・田原本中学校
- 平成19年9月 吉本新喜劇「第3個目金の卵オーディション」合格。吉本新喜劇入団。
 - 平成27～28年 数々の公演にてリーダーとして出演
 - 平成29年7月26日 座長就任

で、これをきっかけに町の魅力をどんどん知ってもらい、皆さんを巻き込んでいきたいです。

また、田原本町は歴史や自然も豊かで、穏やかで落ち着く場所。景色もよくて、町役場から見れば町全体を見渡すことができます。実家に帰るような感じで気軽に訪れていただきたいです。

田原本町にはいいところがいっぱいあるので、皆さんにもっと知ってもらえるように頑張ります。

18人が たわらもとプロモーション大使に！

たわらもとプロモーション大使



平成 29 年 12 月 11 日に「たわらもとプロモーション大使」委嘱式が行われ、町内外の一般住民 18 人を、「たわらもとプロモーション大使」に任命しました。田原本が好きで、田原本をもっとたくさんの人に知ってもらいたいという強い思いをもった 18 人に、平成 29 年 12 月 11 日から一年間、プロモーション大使が運用しているフェイスブックページ（右記の QR コード）で町の魅力を発信してもらいます。

このフェイスブックでは、プロモーション大使それぞれが自身の得意分野を生かしながら、住民目線で「田原本町のいいところ」を紹介してくれます。

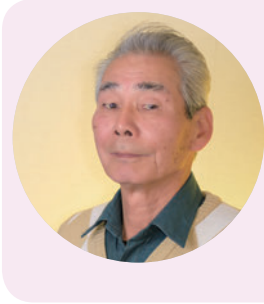
よみとつてね！



たわらもと
プロモーション大使
フェイスブックページ



メンバー紹介 (敬称略)



片岡 慎治

田原本町の寺社や歴史歳時を中心に情報発信していきます。
そして、町の歴史や面白さや住みやすさを一人でも多くの人に知ってもらいたいです。



神橋 瑞月 (高校生)

曾祖母が田原本町に住んでいるので小さいころからよく田原本に遊びに来ていました。田原本の美味しいお店や楽しいイベントなどの魅力を発信していきたいと思います！



高木 早希子 ・ 松田 晴子 ・ 葛城 弘章 ・ 藤本 こづ恵
本多 敬 ・ 前尾 澄恵 ・ 辻 正史 ・ 寺本 忍
梅本 直子 ・ 三輪 晴也 ・ 倉田 眞 ・ 竹林 淳
田中 健雄 ・ 西村 美和 ・ 西嶋 香織 ・ 藤本 憲一
町ホームページでもメンバー紹介をしていますので、ぜひご覧ください。

復元楼閣

修繕工事に伴う足場を利用して

弥生人が見た風景を体感しよう！

日時 3月17日(土) A 午後1時～4時

3月18日(日) B 午前10時～午後1時
C 午後1時～3時

※少雨決行。ただし、雨天・強風により中止となる場合があります。

場所 唐古・鍵遺跡史跡公園 復元楼閣前



▲修繕工事中の復元楼閣

内容

唐古・鍵遺跡史跡公園の開園にあわせて、建築から24年を経て傷んだ復元楼閣の修繕工事を行っています。普段は関係法令上、楼閣に登ることはできませんが、今回は特別に修繕工事に伴う足場から楼閣を見学していただけます。楼閣の内部構造や公園、東の山並みへの眺望を楽しんでいただきたいと思います。

定員

右記(A～C)の時間帯で各150人程度(先着順)
※定員になり次第、ホームページに掲載します。

対象

年齢は問いませんが、小学生以下のお子さんは保護者同伴をお願いします。また、バリアフリーの対応はしていませんので、ご了承ください。

申込方法

往復ハガキに(希望日時が共通の場合は1枚で複数人数可)下記のとおり必要事項(保険加入のため)を記入し、2月9日(金)～28日(木)(当日消印有効)に文化財保存課へ。

※結果は3月7日(木)ごろに返送します。

6360247	※ここは 白紙のまま	往信裏 ① 代表者の氏名・住所・電話番号 ② ①以外の氏名・住所・電話番号(家族の場合は住所・電話番号の省略可) ③ 希望日と時間帯(第2希望まで)
田原本町阪手347の1 文化財保存課 「復元楼閣」係 宛	ご自身の 住所 氏名	
往信表	返信表	

問 文化財保存課 ☎ 32-4404

田原本の今

昨年10月22日の台風21号、その時に放送した防災行政無線が聞こえなかったという住民さんの声がありました。

そこで、直前の放送内容を確認できる防災行政無線フリーダイヤルの周知のため、マグネットシールを全戸によくやく配布することになりました。今後聞き取れない場合があります。もしも確認できたら、そちらに電話して内容をご確認いただきたいと思います。

同時に、田原本町安心安全メール(登録方法などは広報12月号5ページ参照)も稼働させましたので登録をよろしくお願いします。

1月8日、田原本町の平成30年成人式を無事に挙行できました。若い新成人の活気あふれる力強さに感じました。前途洋々たる未来に期待するとともに、田原本で生まれ育つたこと、田原本への郷土愛を忘れずにさまざまな分野で努力を怠らさず頑張っていたいただきたいと思えます。成人する皆さんが東京などに行つ

町長メッセージ Vol.6



田原本町長 森 章浩

ご当地ナンバー



▲無地（図柄なし）のイメージです。図柄入りには図柄が入ります。

導入の意向表明をしました

広報1月号でお知らせしたとおり、ご当地ナンバーと地方版図柄入りナンバープレートの導入を目指し、本町と橿原市・高取町・明日香村・三宅町の枠組みで、『飛鳥』ナンバー導入の意向表明をしました。歴史的なつながりの強い飛鳥川流域の市町村と連携し観光客誘致に取り組んでおり、全国的にも知名度の高い『飛鳥』ブランドの活用は、観光客誘致に大きな効果を発揮できると考えています。

4月には、道の駅「レスティ 唐古・鍵」と「唐古・鍵遺跡史跡公園」がオープンします。ご当地ナンバーを含め、本町の観光振興の絶好の機会ととらえています。

☎ 総合政策課 ☎ 34-2083

ご当地ナンバーに関する Q&A

Q ご当地ナンバーとは？

自動車のナンバープレート地域振興や観光振興に活用するために、地域の要望に応じて新たな地域名の表示を追加できるものです。

ご当地ナンバーが導入されると、その地域内にあるすべての対象車両について、平成32年度中から（新車登録や移転登録時において）順次、新しい地名のナンバープレート（飛鳥）の着用が義務付けられることとなります。希望者については、手数料を支払うことで、現在のナンバープレートをご当地ナンバーに変更することができます。

Q 地方版図柄入りナンバープレートとは？

ご当地ナンバープレートと併せて、地方版図柄入りナンバープレートも導入されます。今後、圏域5市

町村の関係者などで構成する協議会で、その図柄を検討していきます。平成32年度当初には図柄デザインが決定され、同年度中での交付開始となります。

Q どのような種類のナンバープレートになるの？

飛鳥ナンバーで、カラー図柄入り（別途寄附金必要）・モノクロ図柄入り・無地（図柄なし）の3種類から選択できます。

Q ご当地ナンバーが交付される対象車両は？

軽四輪を含む自動車や大型特殊自動車と126cc以上の二輪車対象となります。ただし、事業用軽四輪自動車と126cc以上の二輪車については、無地（図柄なし）のみの交付となり、図柄入りは選択できません。※125cc以下の二輪車などについては、現状の田原本町ナンバーから変更はありません。

て活躍されても、地元ふるさとに戻って活躍し、結婚して住み続けたい。田原本出身の人たちが「田原本はいいまちになった」「田原本はよく頑張っている」「ふるさと納税をしてみよう」「久しぶりに田原本に戻ってみたい」と思えるようなまちにしていきたいと思っています。

そこです、4月にオープンする道の駅「レスティ 唐古・鍵」「唐古・鍵遺跡史跡公園」を拠点として、田原本の魅力を発信していきたいと考えています。

田原本には遺跡などの素晴らしい観光資源が豊富にあり、歴史も文化も伝統もあります。いろいろな方面のお客さんをお呼びできる魅力が存分にあるまちだと思います。それらをつなげて、ストーリーをつけて、発信していきたいと思っています。

同時に田原本だけでは限られた力になりますので、他の市町村と連携して、一緒に力を合わせて、人を呼び込めるような政策を打っていききたいと思っています。

本町、明日香村、高取町、橿原市、三宅町、川西町の6市町村の連携事業、桜井市と田原本町の「卑弥呼のクニを探る」事業、太子道・下ツ道のつながりなど、歴史的なつながりを超えた観光のつながりで新しい誘客施策を打っていききたいと思っています。

『寺川筋今里問屋場絵図』を 田原本町有形文化財に指定

平野氏五千石の陣屋町である田原本は、その北方約1・2kmに位置する川船の港を介して大坂と結ばれ、物資流通の要衝として繁栄しました。

今回、町指定したのは、通称「今里の浜」の絵図として知られていたものです。絵図では、荷揚場と土蔵のある場所が「石見村領字庵ノ口」

と記されており、浜があつた場所は三宅町大字石見となります。このため、この絵図について、これまでの通称「今里の浜の絵図」から『寺川筋今里問屋場絵図』と呼ぶことになりました。

この絵図には、荷揚場や土蔵、牛馬をつなぐ杭が描かれ、近世の「浜」

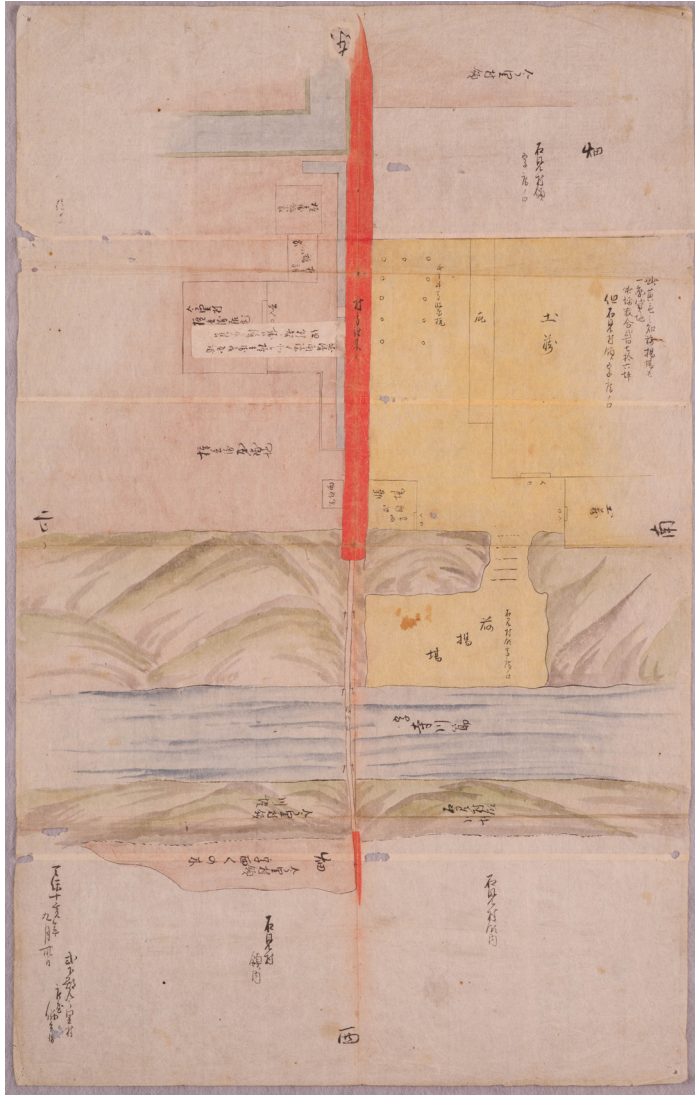
の様子を詳細に知ることができます。今里の問屋場が描かれたこの絵図は、田原本陣屋町の発展を考えるうえで極めて重要です。また、県内では舟運の浜の様子を描いた絵図がほとんど残されていないことから、学術的に貴重な史料になります。

町教育委員会は、町の歴史や文化を理解するうえで重要な文化財の指定を進めています。

今回、町文化財保護審議会の答申を受け、今里自治会が所有する絵図を有形文化財に指定しました。

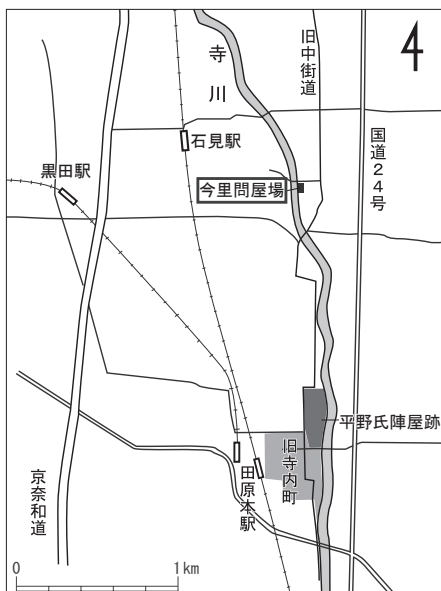
今月号では、この絵図の概要を紹介します。

文化財保存課 ☎ 32・4404



有形文化財（古文書） 寺川筋今里問屋場絵図 1 鋪
今里自治会所有 江戸時代 天保10年（1839）
紙本墨書・淡彩 縦63.6cm、幅39.7cm

位置図



『寺川筋今里問屋場絵図』展を開催

絵図の原本をご覧ください。

日時 2月10日(土)～25日(日)

午前9時30分～午後5時
(土曜日は午後7時まで)

※2月13日(火)・19日(月)は休館

場所 図書館 情報コーナー前